

## 議会だより編集委員会 視察報告書

【実施日】 令和5年2月9日（木）～2月10日（金） 1泊2日

【視察先】 1日目 徳島県勝浦町議会 2日目 兵庫県南あわじ市議会

【目的】 議会だより編集の先進事例に学び、より良い議会だよりを編集するため

【旅費】 413,760円（公費）

### 【内容】

1. 勝浦町議会では平成19年から議会広報委員会を常任委員会として設置し、議会だよりを編集している。委員は5人、2年任期で再任が多い。独自の取り組みとしては、地域おこし協力隊出身の事業者を編集アドバイザーとして委託しアドバイスを頂いている。委託料は令和4年度で45万6千円である。委託以降、令和元年度から4年連続全国町村議会広報コンクールで入賞している。また、各議員の指名により議会だよりモニターを10人指名し年2回モニター会議を開催、頂いたご意見を紙面に反映させる取り組みをしている。令和3年度と4年度には女性議会を開催した。

平成25年より議会を通年議会としており「マラソン議会」と名付けて住民への周知を図っている。一般質問を年3回行うため議会だよりの発行もそれに合わせて年3回としている。編集にあたっての行政チェックは行わない。また、編集の過程においてタブレット端末のグーグルドライブやネット環境を使い、リモートでも編集できるようになった。編集上の工夫としては、表紙を見て手にとってもらうような写真を使う。読みやすい紙面にするため、写真や図をつけ、見出しには方言を使うなどしている。

2. 南あわじ市議会では議会広報公聴常任委員会を設置して議会だよりを編集している。編集の工夫としては市民生活に関係の深い事項や具体的に申請のあった事項を重点的に取り上げ、市民に親しまれるよう写真やイラストを多く用いる。一般質問のページにQRコードを掲載し一般質問の動画配信と連動させている。動画については地元のローカルテレビに配信しその後ユーチューブにアップ。QRコードからリンクするようになっている。広報公聴常任委員会の構成は6名で、総務文教委員会と産業厚生常任委員会の各委員会から3名ずつ選出して偏りがないようにしている。任期は1年。編集過程で行政チェックは入らない。

令和元年の議会だよりが兵庫県内の広報コンクールにおいて入賞した。独自の取り組みとしては、地元小学校の生徒との子ども議会、高校生との意見交換会を行っている。

3. 両議会との意見交換を通じて、西予市議会の議会だより編集委員会と共通の取り組

みも多いことが認識できた。特に委員の選任についてはいずれも苦勞されており、再任が多いことからその状況が窺える。また、紙面構成や役割分担なども同じ方向性を目指しており、当西予市議会の議会だよりも目指す方向は間違っていないと思われる。子ども議会、女性議会については先進事例として今後の参考になった。

#### 【成果及び応用】

1. 編集における民間アドバイザーの登用については費用も含め適切な人材が求められるため今後の検討課題としたい。
2. 市民から読者モニターを募集することは市民に親しまれる議会だよりを作成する観点から有効と思われ、当市議会においても取り入れることを検討すべきと考える。
3. 両議会ともに編集委員会が常任委員会になっており、このことについては当市議会においても検討すべきと考える。
4. 行政との信頼関係から紙面の行政チェックは入れないとのこと。賛否両論あると思われ、今後の検討課題としたい。

以上、議会だより編集委員会視察報告とする。

令和5年3月16日

議会だより編集委員会  
委員長 中村 一雅

1. 徳島県勝浦町議会にて (R05.02.09)

～議会だよりの編集について～



2. 兵庫県南あわじ市議会にて (R05.02.10)

～議会だよりの編集・子ども議会について～

